

成人式開催

祝 広野町成人式



思い出のタイムカプセル

成人式後、新成人が広野小を卒業した時に思い出の品を詰めたタイムカプセルを開けました。中に入っている作文や写真、帽子などを手にし、笑顔がこぼれていました。

1月9日(日)、令和4年広野町成人式を広野町公民館で開催しました。新型コロナウイルスの感染症対策のため、入場時の検温や距離の確保、式典後の立食の中止など規模を縮小し、PCR検査体制を構築した万全の対策を講じ、参加者の安全を確保しました。今年、60人が大人の仲間入りをし、成人式には17人が参加しました。会場では、色とりどりの振袖やきりっとしたスーツ姿の新成人たちが級友との再開を喜び、記念撮影を楽しみ姿が見られました。東日本大震災と原子力災害、それに伴う避難生活など、多くの試験を乗り越えて立派に成人した17人の新成人が一同に会しました。遠藤町長、北郷議長をはじめとする来賓各位が新成人の門出を祝福しました。式典では、遠藤町長が「新成人皆さんの高い志と熱い情熱をもって、これからの日本が輝かしい未来へと前進し、更なる進化を遂げるため、皆さんの若い力が存分に発揮され、ご活躍されますことを心よりご期待申し上げます。」と祝辞を述べました。

謝辞

成人代表 阿部倫太郎さん

「この町が教えてくれたこと」



本日、私たちが新成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このような盛大な式典を催していただきまして、誠にありがとうございます。コロナ禍という大変な状況下でありながら開催に向けてご尽力くださった関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。遠藤町長をはじめ、ご来賓の方々からの心にしみるご祝辞、激励のお言葉をいただき、身が引き締まる思いが致します。成人式という一つの節目を迎え、この町で共に過ごした仲間たちと笑顔で再開できたことを大変うれしく思います。思い起こせば十一年前、私たちは九歳で東日本大震災を経験しました。仲間と励まし合い、先生や家族、そして地域の方々を支えていただいたおかげで今日の私たちがあります。困難を経験し乗り越えてきた私たちだからこそ出来ることは何かを考え、この愛情あふれる広野町の

方々や家族のために恩返しをしていきたいと思っています。広野町出身者としての誇りを胸にしつかりと歩んで参ります。震災で離ればなれになり、今日この場で同席することが出来なかった仲間たちも、同じ気持ちで晴れの日を迎えてくれることと思います。

さて、二〇二〇年に感染が広がった新型コロナウイルスの影響により、様々な場面で制限がかけられる日々が続いています。当たり前の日常は当たり前ではなく、変わらぬ日常の中で生活できる幸せや人と人とのつながりの大切さを改めて考えさせられた日々でもありました。そのような状況の中、二十歳を迎え、すでに社会人として活躍している人、目標に向け学習に励んでいる人など、進む道は違いますが、それぞれが自分の目標に向かって一歩ずつ歩み続けています。素晴らしい時間を共に過ごしたこの仲間たちとの絆は、これからも大切に参ります。

現在、社会の中で多くの人が様々な状況に置かれ困難に立ち向かっています。人を思う優しさや、何事にもあきらめず挑戦する強さはこの町が教えてくれました。これまで支えられ助けられることが多かった私たちはこれから、広野町で培った経験や思い出を糧に、誰かを助け、笑顔にできるような成長して参ります。

最後になりましたが、まだまだ未熟な私たちが、どうか今後も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。そして感謝の気持ちを忘れず、力強く、優しく、たくましく生きていくことを誓って新成人代表謝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。